

みなさんの暮らしとつながっています。

はまだ議会だより



Vol.53

令和元年(2019年)5月1日発行

主な記事

3月定例会のポイント……………	2
会派代表質問……………	5～7
市政を問う（個人一般質問）…	9～14

3月定例会

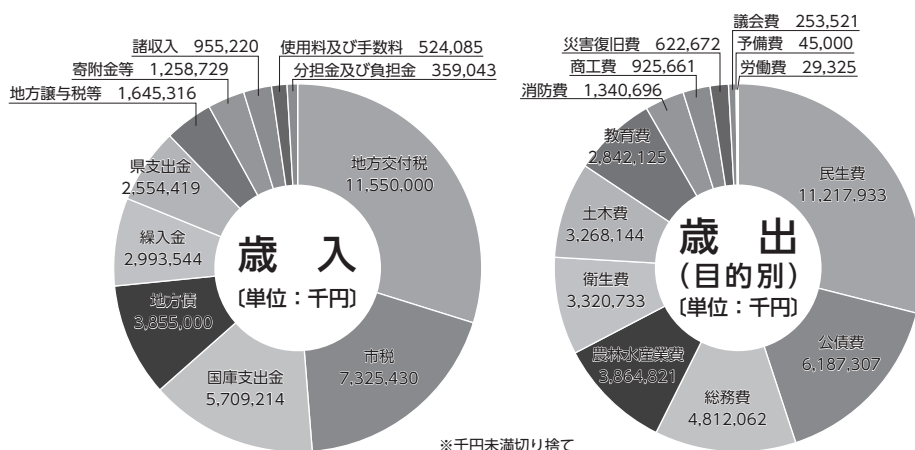


今回はこれがポイント！

開府400年関連事業と漁港エリア活性化に注目

3月定例会では市長提出議案34件、同意1件、請願1件の審議を行いました。議案では美又温泉国民保養センターの指定管理者の指定、平成30年度補正予算では（仮称）山陰浜田港公設市場整備事業、平成31年度当初予算では、はまだ健康チャレンジ事業、浜田開府400年記念イベント事業、国民健康保険特別会計予算等に質疑が集中しました。議会では、政務活動費を後払いとする条例の一部改正も行い議会改革を進めました。

平成31年度予算をチェック



平成31年度一般会計予算

総額 387億3,000万円

前年度比 7億2,000万円(1.8%)減

市から提案された予算案について、予算決算委員会で審査を行いました。

これまでの実績や課題解決に対して、適切に取組めるかなど、さまざまな視点で4日間の質疑や討論を交わしました。

議会注目事業の「概要★」と「着眼点👁👁」

歴史文化伝承

浜田開府400年記念イベント事業

(事業費：3,267万円)



ときあす 時代を超えて 明日につなぐ

400年に想う未来—新たな浜田の物語

★ 今年、浜田開府400年を迎えるにあたり、各イベントを通じて、郷土の歴史や文化を振り返り、次世代につながるまちづくりを考える機会とする。

👁👁 「開運なんでも鑑定団」や「NHKのど自慢」の誘致も企画されているが、一過性の盛り上がりにとどまらず、未来につながる事業となるよう、意識醸成の機会としての活用と、市民企画のイベントにも期待。

水産業振興

高度衛生管理型荷さばき所整備事業

(事業費：18億6,200万円)

★ 浜田港で水揚げされる水産物を高度に衛生管理することによって品質を保ち、消費者に安全で安心な水産物を提供する。

👁👁 浜田漁港を利用される方が衛生管理について理解を深め、消費者までの安全安心な水産物提供の環境整備が必要。

浜田漁港活性化計画策定事業 (事業費：330万円)

★ 浜田漁港エリアを核とした水産業の活性化を図るために必要なビジョン及び事業計画を作る。

👁👁 コンサルに委託することも方法ではあるが、担当課での計画作りも可能な案件ではないか。識見者、一般消費者等で構成される検討委員会との連携も大切。

子育て支援

産婦健康診査事業

(事業費：202万円)



★ 産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、健康診査費用を助成し支援体制を整える。産後2週間の産婦に対して浜田医療センター、MIWA助産院に委託して実施する。



対象者約400人への周知と積極的な利用に注目するとともに、捕捉が困難であった産後初期段階における母子への細かい支援に期待。

健康増進

はまだ健康チャレンジ事業 (事業費：247万円)



運動、食事、社会参加などにポイントを付け応募すると、抽選で浜田市共通商品券（2千円分）が当たる事業。ポイントは「ウォーキング」「体操・運動」「朝食・社会参加」によって付く。これらの活動を通して、自分で健康づくりに取り組む意識を持つことを目指す。



各種取組により病気の予防やメタボ対策の効果を実感することによる運動等の習慣化。新規事業であるため、対象者（18歳以上）への幅広い事業周知と参加者の確保ができるかに注目する。また、既存事業との連携を図った効果的な事業展開が今後行われるのかに期待。

自主防災組織設立支援

防災まちづくり推進事業

(事業費：430万円)



★ 自主防災組織が未設立の町内に対して、設立の推進や防災意識の向上を図るための活動を支援し災害に強いまちづくりを目指す。



市街地での設立数に注目（※現在、市内での組織率は66%。今後3年間で組織率85%を目標）。防災担当課とまちづくり担当課との連携が事業の成否の鍵を握る。

健康推進

敬老入浴券贈呈事業

(事業費：914万円)



★ 1年間介護保険サービス未利用者に入浴券を年6枚贈呈し、健康づくりや社会参加の促進を図る。

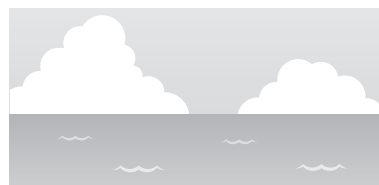


前年度からの継続事業のため、効果や課題を検証し、より利用しやすい事業展開が図られるかに期待。また、入浴を通じて社会参加の促進につながるかに注目。

社会教育推進

海洋教育推進事業

(事業費：90万円)



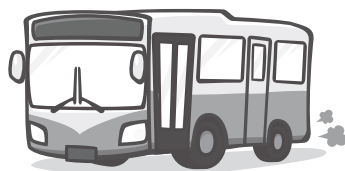
★ 小中学校3校で海に関わる学習を通した単元開発を行い「海洋教育プログラム」を構築する。併せて、子どもたちにふるさとへの誇りと愛着の醸成を図る。



モデル校により開発された海洋教育プログラムの市内全域への波及と、海への関心の高まりに期待。

高齢者・障がい者交通費助成

地域公共交通確保対策事業 (事業費：1億657万円)



★ バス、タクシーで利用できる乗車券を満70歳以上の方へ1冊3千円分、1人10冊まで1,500円で販売。また、障害者手帳を所有する方へは1冊3千円分を1人5冊まで無料交付する。（限度額を13,500円から15,000円に拡充した）



制度拡充が利用拡大につながるかに注目。浜田駅から半径8キロ以上の町の居住者は15冊まで購入できるが、距離の長短、交通空白地域等による不公平感の調整が今後の見直しにおける課題。

農林業振興

豊かな森づくり推進事業

(事業費：2,512万円)



★ 平成31年度に新設される森林環境譲与税を、地域木材利用促進や人材育成等の事業に活用する。



森林整備を促進するための人材育成、担い手の確保は急務であり、この事業に期待。

しまねお魚センター

買い取りを決定

「しまねお魚センター」の土地と建物を、市が買い取ることが決まりました。同センターの土地は9229㎡、建物の延べ床面積計は2117㎡。それぞれの鑑定評価額は、それぞれ1億4100万円、9666万円として、買い取り費用が平成30年度補正予算に計上されました。これに公設水産物仲買売場の移転や施設改修にかかる費用を加えた5億7650万円が総事業費として見込まれています。同センターは本年5月末に閉店し、2020年の秋をめどに、新しい施設として生まれ変わる計画です。新施設が、港エリア・浜田全体の中でどういう役割を担っていくのか。新設された検討委員会の動向を注視しながら、議会からも積極的な提案を行いたいと思います。

問 どんな経緯で買い取ることになったのですか？

答 公設水産物仲買売場の建物の老朽化が課題でした。お魚センターの運営会社が会社清算される方針が出されたことで、移転整備の検討をしたところ、新設よりも低コストにおさまったというのが理由です。

中山間地域振興特別委員会では、これまで調査・研究を重ねてきた結果を取りまとめ、3月6日「中山間地域振興に関する提言（集落機能の維持対策について）」として市長に手渡し、今後の施策に反映するよう要請を行いました。

提言は、大きく分けて4点です。

提言Ⅰ 地域の現状把握と話し合う場を持つこと
住民アンケートを実施し、客観的な統計データを併せて現状把握や分析を行い、話し合うことが大切であることや、集金常会の活用などを提言しました。

提言Ⅱ 地域のサポート体制の充実、人材育成を図ること
公民館へ主事に加えてまちづくり担当を配置して体制強化を行い、公民館の「学び・考える」機能とまちづくりの「動く」機能が相乗効果を生み出せるよう充実を図ること、まちづくり担当専任職員を配置すること、地域が活動しやすいエリアの設定などを提言しました。

提言Ⅲ 専門家のサポート体制を確立すること
アンケート実施や分析、地域でのまちづくり計画などを策定する場合に専門家を活用するため、どんな時に誰に相談すればよいかを示す（仮称）浜田市中山間地域人材ネットワークの創設を提案しました。

提言Ⅳ 必要な予算を確保すること
アンケートや専門家の活用、さらには、事業の試行・実践へと活動を進めるためには、調査費や事業の試行・運営のための経費など、地域の方々が使いやすい予算上の支援が必要であると提言しました。

委員会では、今後も引き続き、中山間地域振興のための調査・研究を続け、第二弾の提言に向け取組んでまいります。



公設水産物仲買売場の様子



老朽化が顕著な公設水産物仲買売場は建設から39年が経つ

集落機能の維持対策について市に提言しました

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛野弘二

中山間地域振興特別委員会では、これまで調査・研究を重ねてきた結果を取りまとめ、3月6日「中山間地域振興に関する提言（集落機能の維持対策について）」として市長に手渡し、今後の施策に反映するよう要請を行いました。

提言は、大きく分けて4点です。

提言Ⅰ 地域の現状把握と話し合う場を持つこと
住民アンケートを実施し、客観的な統計データを併せて現状把握や分析を行い、話し合うことが大切であることや、集金常会の活用などを提言しました。

提言Ⅱ 地域のサポート体制の充実、人材育成を図ること
公民館へ主事に加えてまちづくり担当を配置して体制強化を行い、公民館の「学び・考える」機能とまちづくりの「動く」機能が相乗効果を生み出せるよう充実を図ること、まちづくり担当専任職員を配置すること、地域が活動しやすいエリアの設定などを提言しました。

提言Ⅲ 専門家のサポート体制を確立すること
アンケート実施や分析、地域でのまちづくり計画などを策定する場合に専門家を活用するため、どんな時に誰に相談すればよいかを示す（仮称）浜田市中山間地域人材ネットワークの創設を提案しました。

提言Ⅳ 必要な予算を確保すること
アンケートや専門家の活用、さらには、事業の試行・実践へと活動を進めるためには、調査費や事業の試行・運営のための経費など、地域の方々が使いやすい予算上の支援が必要であると提言しました。



魅力ある人材育成と 住民自治のまちづくりを



創風会

にし
田 清 久



質問 新たに整備予定の「(仮称) 山陰浜田港公設市場」のコンセプトとグラフィックデザインについて問う。

市長 本年1月に設置した「浜田漁港周辺エリア活性化検討委員会」において将来ビジョンを検討し、施設の位置付けやコンセプトを明確にしていきたい。

質問 有害鳥獣対策について、狩猟免許試験の在り方や、クマ被害対策について、即効性のある対応をしなければならぬと考えるが所見を問う。

市長 本市の狩猟免許取得者は、現在315人だが、高齢化が進んでいるため新たな狩猟者の確保が重要な課題で、狩猟免許試験の合格率を高めるために猟友会による事前講習会が開催されており、市は受講費を全額補助している。クマ被害対策につ

いては、地元からも強い要望があり、関係機関と連携して適切な対応に努める。

質問 「地域おこし協力隊制度」を活用した事業承継で、地域おこし協力隊の募集戦略について問う。

市長 移住・交流推進機構が運営する地域おこし協力隊募集サイトを活用する。特に「創業を目指す起業家」にポイントをしぼり、事業引継ぎ支援センターが運営する後継者人材バンクの活用や、シェアオフィス・P・Rを行うなど積極的な募集をする。

質問 萩・石見空港の利用促進の最大課題であるインフラについて問う。

市長 萩・石見空港利用拡大推進協議会と島根県において、首都圏を対象とした旅行商品の造成、モニターツアー、移住体験・企業誘致のための視察ツアー、企業への運賃

助成などに取組んでいる。

質問 防災行政無線戸別受信機の市内全域整備について、市民の生命を守るためにも最優先に中期財政計画に計上すべきと考えられるが所見を問う。

市長 防災行政無線のデジタル化への移行、更新を踏まえる必要がある。また一方で、情報収集手段の多様化が進んでおり、戸別受信機に代わるテレビのデータ放送や、ケーブルテレビの活用も必要と考える。

質問 自治区制度は、周辺住民の想いの結晶であり、その想いを理解、受け止められない状態で廃止の方向へもつていくとされるのは容認できない。市長の所見を問う。

市長 現在、素案に対する地域からの意見をまとめている。住民の皆さんの想いを十分に受け止めながら、最終案を検討したい。

平成の次の時代へ 何を伝え、何を残すか



未来
野 藤

かおる
薫



質問 7号、4号と高度衛生管理型市場の工事が進むが、整備後の5号、6号上屋が空くことになる。陸上養殖施設などに活用できないか、また新生「しまねお魚センター」の漁港エリアでの位置付けを問う。

市長 5号、6号上屋はJFしまねの管理。利活用は今後の協議になる。「しまねお魚センター」は、みなとオアシスの中核施設、漁港エリア全体の活性化につなげていく。

質問 平成29年9月議会において「浜田市中小企業・小規模企業振興基本条例」が成立したが、そのことも踏まえ、商工業振興の考えを問う。

市長 市政の重要な柱の一つとして「産業振興と中小事業者支援」を掲げ、創業・創業セミナー、新商品開発、販路開拓、事業承継などに取組んだ。来年度は、さらに事業承継に地域おこし協力隊を活用した後継者マッチングなどにも取組む。

質問 浜田市が目指す子ども・子育て支援の考えを問う。

市長 「子育て支援センター」建設については市全域の拠点とし、利用しやすいを第一に妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制を行える施設を目指したいと考える。

質問 文化・歴史教育の環境整備について問う。

市長 浜田開府400年で御使殿が浜田城資料館として開館する。展示内容は浜田城や北前船に関するパネル展示や資料、模型など分かりやすい展示としたい。(仮称)浜田歴史資料館については、平成29年に、いったん整備計画を取り下げた

市の元気づくりはまず雇用

産業政策に全力をあげよ



超党はまだ
芦谷英夫



質問 市の人口に関連する目標数値に及ばないが、どう達成するのか。

市長 出生数が2年連続400人を割り、県外転入者が減少しているが、目標達成したUターン者数など上方修正し、あらゆる政策を総合的に進めたい。

質問 企業立地と雇用拡大の実績と成果はどうなっているか。

市長 5年間で17企業2社、農業法人2社を誘致し、18人の雇用が生まれ、個人13人の起業で8人の雇用が生まれた。31年度は大規模工業用地造成の設計を行う。

質問 公共事業、指定管理事業などで働く人の適正な労働条件を確保する公契約条例制定はどうか。

市長 働く人の適正な賃金水準や労働条件の確保は、公共サービスの質向上、経済活性化につながる

り、国に対し県市長会を通じ要望している。

質問 お魚センターと仲買売場統合は、市の責任による方向付け、運営母体構築はどうするのか。

市長 山陰浜田港公設市場は、施設のコンセプト、機能、役割を明確にし、実現できる事業者を選定したい。

質問 お魚センターとゆうひパーク、各温泉、観光施設などの連携の仕組みづくり、人が訪れる流れがつかれないか。

市長 お魚センターと他観光施設との連携は重要で、観光施設が特色を発揮し、共存し合える仕組みをつくりたい。

質問 健康チャレンジ事業は目標数が低い。進化させられないか。

市長 健康チャレンジ事業日程表の全戸配布、ケーブルテレビや関係団

体での説明などで、多くの市民が参加できるよう工夫と改善をしたい。

質問 県立大学では専門高校生の推薦入試枠が拡充されるが、若い人の定住を進められないか。

市長 県立大学では県内高校の入学者確保に努める。市は県立大学や高校と連携し、若い人の県内定住を支援したい。

質問 インバウンドを推進するため、市の国際交流を再構築でないか。

市長 友好都市との交流はインバウンド推進の一つのアプローチであり、観光客と結び付けた効果的な国際交流を検討したい。



再建待ったなし 浜田の顔「お魚センター」

公民館のコミュニティセンター化

不安を与えない周知を



公明クラブ
柳楽真智子



質問 地区まちづくり推進委員会を設置された時、自治会も残したまま2つの組織が存在し、自主防災組織や地区社協もある。組織ごとに役員を配置しなければならず負担感も大きい。今後、コミュニティセンター化を進めるには市民に不安感を与えない周知と組織の集約が必要と思うが、今後の進め方を問う。

市長 公民館機能の充実とまちづくり拠点としての強化を図るため、自治区制度の見直しと併せてまちづくりの考え方を示していく。コミュニティセンターの具体的な体制や機能については各地域の実情に合わせ関係者の意見を伺いながら検討する。

質問 子育てに関係する部署を集約することで、相談体制強化と利用者の利便性向上につながると思う。子育て支援センターの建て替えを機に集約する考えはないか問う。

市長 子育てに関わる業務は多岐にわたっており、すべてを集約することは困難だと考えている。ただし、センターの建て替えを機に「子育て世代包括支援センター」を移行し、相談窓口の一本化を図りたいと考えている。

市長 公民館機能の充実とまちづくり拠点としての強化を図るため、自治区制度の見直しと併せてまちづくりの考え方を示していく。コミュニティセンターの具体的な体制や機能については各地域の実情に合わせ関係者の意見を伺いながら検討する。

質問 子育てに関係する部署を集約することで、相談体制強化と利用者の利便性向上につながると思う。子育て支援センターの建て替えを機に集約する考えはないか問う。

市長 子育てに関わる業務は多岐にわたっており、すべてを集約することは困難だと考えている。ただし、センターの建て替えを機に「子育て世代包括支援センター」を移行し、相談窓口の一本化を図りたいと考えている。

市長 公民館機能の充実とまちづくり拠点としての強化を図るため、自治区制度の見直しと併せてまちづくりの考え方を示していく。コミュニティセンターの具体的な体制や機能については各地域の実情に合わせ関係者の意見を伺いながら検討する。

質問 定員適正化が図られているが年齢層の偏りがあり、10年後・20年後の職員数が心配である。この偏りはいつ頃解消されるのか問う。

市長 現在、30歳台前半の年齢層が少ない。今後数年間は年齢制限の上限を35歳までとする社会人経験者の採用を進め、平成40年度までには平準化を目指す。

その他の質問
○敬老入浴券について
○親亡き後の障がい者支援について
○特別支援教育の充実について

市長 国は自立促進によって要介護度を改善させた事業所に対し、インセンティブ措置の導入を検討している。こうした動向を注視し検討していく。

市長 国は自立促進によって要介護度を改善させた事業所に対し、インセンティブ措置の導入を検討している。こうした動向を注視し検討していく。

市長 国は自立促進によって要介護度を改善させた事業所に対し、インセンティブ措置の導入を検討している。こうした動向を注視し検討していく。

市長 国は自立促進によって要介護度を改善させた事業所に対し、インセンティブ措置の導入を検討している。こうした動向を注視し検討していく。



中山間地域生き残りの仕組みづくり 待ったなしの施策を

元気な中山間地

飛野弘二



質問 前浜田市市長故宇津徹男氏の市葬が厳かに執り行われた。告別の辞で、市葬実行委員長長の久保田市長が、平成17年の市町村合併に触れ「川上である那賀郡を大事にすることが、川下の水産浜田市のために、新市全体の発展につながる」との想いで、地域の個性を生かしたまちづくりを進めてこられた」と功績に感謝する言葉があった。前市長のこの想いをどのように受け止めているか。また、今後も継承すべきと思うが問う。

市長 感謝を申し上げる。その想いは、今後も継承し、地域の個性を生かしたまちづくりを進めながら元気な浜田づくりにまい進する。

質問 農用地の保全に当たり畦畔の草刈の省力化においてセンチピードグラス吹付けは現在では、最善の支援策だが、普及するには大幅コストダウンを図る必要があるが問う。

市長 農用地の保全に当たり畦畔の草刈の省力化においてセンチピードグラス吹付けは現在では、最善の支援策だが、普及するには大幅コストダウンを図る必要があるが問う。

市長 吹付け機械の導入支援をするともに、機械の有効活用のため、共同利用や貸し出しなどの手法を検討する。

市長 吹付け機械の導入支援をするともに、機械の有効活用のため、共同利用や貸し出しなどの手法を検討する。

市長 前市長が旧那賀郡を大切にすることが市全体の発展につながるのと思い、地域の個性を生かしたまちづくりを進められたことが今の浜田市の大きな礎であると受け止めている。改めてその功績を称え、深甚なる



センチピードグラス吹付け機による作業風景

議案に対して討論を行いました

議案第7号

「浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について」

反対討論

澁谷 幹雄

市内87世帯の自営業者の国保料が来年また3万円アップ、年96万円に。国民健康保険瓦解の犠牲者なので、予算を講じて値下げすべきだ。

西村 健

現在の国保料の合計賦課限度額は93万円ですすでに限界を超えており、今回の医療分3万円引き上げは、国と地方自治体の責任放棄である。

議案第17号

「平成30年度浜田市一般会計補正予算(第5号)」

反対討論

川上 幾雄

お魚センターの土地建物購入は、市指針に反する。赤字経営でありながらの株主配分は異常だ。今は立ち止まり大きな計画から再考すべき。

澁谷 幹雄

島根県とよく協議し、漁港工リア全体のビジョンを作って、買い取るべき。これでは、昨年のふるさと体験村の直営化失敗と同じ結果になる。

議案第23号

「平成31年度浜田市一般会計予算」

反対討論

西村 健

ふるさと体験村施設運営に関わる疑惑究明を徹底せず、民意に逆らい歴史資料館建設を再び進めようとする市長の政治姿勢に反対する。

議案第24号

「平成31年度浜田市国民健康保険特別会計予算」

反対討論

西村 健

来年度国保料率の算定に当たり、「保険料の上昇を抑える」という明確な方針を持ちながら、予算にその方針が反映されていない。

請願第3号

「消費税増税の中止を求める意見書の提出について」

賛成討論

西村 健

内閣府は、景気動向指数の悪化により基調判断を引き下げており、国内の世論調査や世界経済の動向を見ても、消費税増税は中止しかない。

平成31年3月定例会議案等の賛否の公開(本会議)

反対理由の詳細は、市議会ホームページをご覧ください。浜田市ホームページ→会議日程・結果→賛否の公開

議案番号	議 案 名	賛成	反対
議案第1号	浜田市ケーブルテレビ施設条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第2号	浜田市防災行政無線施設条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第3号	浜田市手数料条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第4号	浜田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第5号	浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第6号	浜田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第7号	浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	反対：田畑、澁谷、西村 19	3
議案第8号	浜田市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第9号	浜田市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第10号	浜田市地域集会施設等条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第11号	浜田市火災予防条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第12号	浜田市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第13号	浜田市水道事業審議会条例の制定について	22	0
議案第14号	浜田市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	22	0
議案第15号	指定管理者の指定について（浜田市美又温泉国民保養センター）	22	0
議案第16号	浜田市過疎地域自立促進計画の変更について	22	0
議案第17号	平成30年度浜田市一般会計補正予算（第5号）	反対：川上、澁谷 20	2
議案第18号	平成30年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	22	0
議案第19号	平成30年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	22	0
議案第20号	平成30年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	22	0
議案第21号	平成30年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	22	0
議案第22号	平成30年度浜田市水道事業会計補正予算（第2号）	22	0
議案第23号	平成31年度浜田市一般会計予算	反対：西村 21	1
議案第24号	平成31年度浜田市国民健康保険特別会計予算	反対：西村 21	1
議案第25号	平成31年度浜田市駐車場事業特別会計予算	22	0
議案第26号	平成31年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計予算	22	0
議案第27号	平成31年度浜田市公共下水道事業特別会計予算	22	0
議案第28号	平成31年度浜田市農業集落排水事業特別会計予算	22	0
議案第29号	平成31年度浜田市漁業集落排水事業特別会計予算	22	0
議案第30号	平成31年度浜田市生活排水処理事業特別会計予算	22	0
議案第31号	平成31年度浜田市後期高齢者医療特別会計予算	22	0
議案第32号	平成31年度浜田市水道事業会計予算	22	0
議案第33号	平成31年度浜田市工業用水道事業会計予算	22	0
議案第34号	平成31年度浜田市一般会計補正予算（第1号）	22	0
同意第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	22	0
請願第3号	消費税増税の中止を求める意見書の提出について	賛成：小川、笹田、芦谷、西村 4	18
発議第1号	浜田市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	22	0

また、陳情について20件の審査を行いました。陳情の件名や審査の結果については市議会ホームページをご覧ください。
浜田市ホームページ→請願・陳情・傍聴→請願・陳情の審査結果

請願について審査しました

請願名	提出者	委員会の審査経過
消費税増税の中止を求める意見書の提出について	新日本婦人の会浜田支部 白瀬 迪子 浜田市長見町	総務文教委員会 (不採択)

市政を問う

18名が論戦
(個人一般質問)



【一般質問とは】

各議員が市民の代表として、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねることです。

「議会だより」では限られた字数で編集しています。詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください。

井戸用ポンプの補助制度は

今後とも継続すべき



佐々木 豊治

質問 水道施設の整備が困難な水道未普及地域の現状と支援策を問う。

市民生活部長 市内の水道が整備されていない未給水区域の世帯数は、610世帯ある。井戸などの整備の支援として、補助率10分の8、上限200万円の補助制度がある。また、三隅自治区においては、井戸設備の修繕に対する補助制度もある。

質問 井戸施設の修繕に対する補助制度は、三隅だけでなく全市に広げるべきではないか。

市民生活部長 新設補助及び三隅の修繕補助はいずれも平成31年度で終了予定である。今後は中山間地域対策プロジェクトにおける検討課題として、担当課としては修繕補助は引き続き行いたいと考える。



井戸用ポンプ

質問 前議会でも取り上げたが、(仮称)島根風力発電事業について、美川地域では業者説明会の開催後、地域全体に影響を及ぼすことを懸念され、反対の要望書を提出された。日に日に地域の心配の声は大きくなっており、市のできる限りの対応を望むがどうか。

市民生活部長 市としても引き続き環境影響評価法の手続きの中で、県知事に対し市長意見を述べていきたい。



屋外拡声器の音声は

全く聞こえない



道下 文男

質問 昨年は、浜田市を直撃とする台風が次々と発生したものの、浜田市を避けて通過した。大災害がいつ起きても不思議でない状況にあり、改めて市民からの要望が後を絶たない戸別受信機の全戸配備への考えを問う。

質問 私は、以前から安価で電波の強い280メガヘルツの周波数を使った防災無線システムを整備を提案しているが、その後の進展について問う。

総務部長 NTTなどに相談したところ、全体の整備にかなり高額になることや、調査設計にも多額の費用が発生する場合もあるとのこと。他の方法も含めて引き続き検討している状況である。



市民から批判の多い屋外拡声器

総務部長 戸別受信機は浜田自治区以外で全戸配備されているが、デジタル化へ受信機の更新が伴う現実がある。そのような



その他の質問
○学力向上対策について
○水産業の振興について
○防犯カメラ、ドライブレコーダーの設置について

教育環境の整備を急げ

老朽化する学校プール



沖田 真治



質問 市内小中学校のプールの多くは老朽化が進み、衛生面、安全面ともに十分とは思えないが、このような状態で、いつまで使用を続けるのか？

教育長 どの施設も老朽化が進んでおり、水泳授業が始まる前には、点検を行い、修繕が必要な箇所は修繕して使用開始としている。拠点プール以外は使用可能な限り使用する。

質問 拠点は決まっているのか？

教育長 4自治区については決まっている。浜田自治区については地区バランスを見ながら、今後検討する。

質問 老朽化の対応として、室内施設での授業に切り替えた自治体を参考にしながら、対応を検討するべきでは？



老朽化したプールサイド
一刻も早い改修を望む

教育長 室内プールを利用する場合、バスの確保や授業時間の縮小に伴う泳力の低下などの課題もある。室内プールと併せて、拠点プールを改修して使用する。現状の安全性の確保については、点検時期を前倒して、全て点検する。

質問 学校、保護者の意見をどう反映するのか？

教育長 今後は学校、PTAとの意見交換をする。

その他の質問 ○消防団組織について

開府400年事業に

市内の城跡を活用しよう



川上 幾雄



質問 市内には開府400年以前の歴史資料（城跡・砦跡）が存在する。この城跡に関する資料の収集管理はどうする？

教育部長 城跡は中世に築城されたものであり、市内に合計103カ所が確認され、埋蔵文化財として市の教育委員会が窓口となり取扱いの調整を図っている。

質問 埋蔵文化財に該当するであろうが、活用しない手はない。平安末期から「浜田開府」に至る時代の領主たちの足跡が各地に残る城跡。これを生かし三隅自治区を例として、市内の城跡をつなぐ「（仮称）浜田開府のろしりレー」を行えば、歴史探訪、ふるさと教育、観光客の誘致、市内一体感の創出に役立ちそうだがいかがか？



三隅自治区ののろしりレー

教育部長 伐採や個人所有など多くの問題がある。

質問 焚き火でなくとも発煙筒を使えばよい。

市長 検討させる。

質問 「浜田さんいらっしやい」事業の特典は？

産業経済部長 特典1として、浜田姓の方に4月から12月の期間5千円の市内宿泊費用を助成するもので、同行1名までを対象とする。特典2として、期間5年の市内施設割引を受けられる特別住民票を発行する。

安定した水道事業経営を



三浦 大紀



質問 災害対応、衛生管理について、水安全計画の策定作業を進めるべき。

上下水道部長 策定作業を進め、それに基づいて水道管理を行う。

質問 人口減によって料金収入も減少。経費削減も限界に近い状況で、新たな収益を生むこと（管路を活用した小水力発電など）を検討すべき。

上下水道部長 土地売却できるものはして、資産管理に努めているが、新規事業開発は未着手。今後研究していく。

質問 県で事業を一本化するくらいに広域化が必要ではないか。できることから積極的に検討を。

上下水道部長 経営基盤強化のための有力な方策と考える。検討を続ける。

質問 料金激変で市民生活激変が生じてはならない。



きれいでおいしい浜田の水

質問 細やかな事業・価格の見直しが必要。
※昨年10月の料金改定においては、市民生活安定化基金が充当されたため、料金改定は3年をかけて段階的になされる。

上下水道部長 水道事業は独立採算が原則。水道審議会での協議も踏まえ、安定経営に努める。

質問 児童の学習レベルにあった、施設見学説明・資料に改善をすべき。

上下水道部長 すぐに改善する。

弥栄の施設建て替え計画が

ずれた理由は？



串崎利行



質問 弥栄町杵束地区にある、「老人福祉センター」・「憩いの家」の建て替えは、早い時期に建て替え計画を聞いていたが、なぜここまでずれたんだか理由を問う。

弥栄支所長 公共施設白書や公共施設再配置実施計画を策定のため、建て替えを先送りした。

質問 建て替えのスケジュールについて問う。

弥栄支所長 平成31年度実施計画・平成32年度施設建築・平成33年度既存施設解体・平成34年度施設の供用開始の予定。

質問 自治区制度については、現在議論中であるが、制度が見直しされたとしても、基金はそれぞれの地域の施策に活用するべきである。平成32年度以降の基金の取扱いについて問う。

健康福祉部長 無料配布



建て替える老人福祉センター・憩いの家

運転免許自主返納者に対しても

支援の拡充を



布施賢司



質問 全国的に高齢者が加害者となる交通事故が増加する中、本市は高齢者に運転免許自主返納促進事業を実施して効果を上げていくが、さらに支援拡充をしないのか問う。

地域政策部長 促進策として敬老乗車券5冊を無料交付しており、今回8km以上の町にお住まいの方には、従来の購入冊数の上乗せを予定しており、別枠での拡充は行わない。

質問 敬老入浴券贈呈事業の初年度成果を問う。

健康福祉部長 1月末現在、延べ8千人以上が利用し、社会参加及び健康維持の意欲の向上につながっていると考える。

質問 終活応援として、市がエンディングノートの無料配布や終活市民講座などを開催すべきだ。

健康福祉部長 無料配布



重大な事故を起こす前に運転免許自主返納を！

中山間地域・自治区制度は

どうなるのか？



田畑敬二



質問 現行の自治区制度から新制度への移行が示されたが、見直す必要性があるのか問う。

地域政策部長 個性あるまちづくりと、一体的なまちづくりのバランスを取ることで重要である。今回の見直しで、自治区長を中心とした自治区制度検討委員会が協議している。

質問 自治区制度を継続すると、市政運営に支障があるのか。

地域政策部長 住民自治や、まちづくりの共通の土台を創ることが重要である。

質問 地域協議会の位置付けの考え方を聞く。

地域政策部長 方針案では一部を変更し、今まで通り継続する。

質問 自治区制度見直しの場合は、平成33年度以降、中山間地域活性化のための事業分として、10億円基金事業枠を確保とはどのような考えか問う。

地域政策部長 10億円基金枠を確保し、地域の声を受け自治区予算に代わり、自治区枠を越えて、中山間地域活性化のための共通事業枠を拡充して取り組むことを検討している。

その他の質問 ○消防組織の再編について

○まちづくり総合交付金について



荒廃が進む中山間農地

学級崩壊・いじめ解決に

学校と地域の連携を



にし
かわ
しん
ご
西川真午



質問 浜田市内小中学校での学級崩壊の実態は。

教育部長 今年度は小学校で3学級あったが、中学校ではない。

質問 今現在、市内の小中学校で学級崩壊は起きており、いじめにより不登校となっている生徒もいる。教育委員会へは学校から事案の報告がなされ、把握しているのか。

教育部長 学校で対処できない重たい内容の場合には相談があり、連携して対応している。

質問 学校と地域が連携して、学級崩壊やいじめ問題の解決に取り組むべきと考えるか。

教育部長 現在も地域と色々と連携しているのので、充実させていきたい。

質問 山林の所有者が自ら森林経営を行う「自伐型林業」を推進すること



自伐型林業推進フォーラムin 下関へ参加（平成31年2月2日開催）

で、人工林の生産拡大は可能か。

産業経済部長 作業道の整備が不十分で、急峻な地形であるため限定的。

質問 他県では地域おこし協力隊による自伐型林業の活用で、定住対策に効果をあげているが。

産業経済部長 市だけではなく県による支援や、地元や関係機関との連携が必要である。

その他の質問
○市民の幸福度の向上について

風力発電の自然環境および

市民生活への影響



お
がわ
とし
ひろ
小川稔宏



質問 2つの新たな風力発電施設の設置計画の中で、クマタカ生息域消失の懸念と生物多様性の保全条例の必要性を問う。

市民生活部長 環境影響評価法で生息状況調査も実施される。生活、自然環境に重大な影響がないよう法手続きの中で意見を述べていく。条例は重要な観点で調査研究する。

質問 風車設置と沢崩れの関連性は？

市民生活部長 森林伐採で少なからずあると認識している。

質問 風車設置で民宿を断念し転居された事例の認識を問う。

市民生活部長 直接相談はなかったが説明会等の場で発言はあったと聞いている。引き続き地域住民の意見の把握に努める。

質問 地権者と住民との



弥畝山の風車群

利害が対立する場合の行政の立ち位置は？

市民生活部長 実施にあたっては住民の理解と合意が前提であることを事業者に伝えている。意見を充分聞き住民に寄り添う形で進めるよう求める。

質問 事業撤退の場合の機材撤去と原状回復は？

市民生活部長 規定はないが事業者の責任で適正に対応すべきと認識する。

その他の質問
○地域包括ケアシステム構築について

公立幼稚園の教育の

在り方を早急に示すべき



にし
むら
けん
健
西村健



質問 幼稚園園児数は、認定こども園幼児部は現在44人、私立は15年度の46人を底に増加し、激減する市立と状況が違つが、その要因について問う。

教育部長 15年度に保育料が応能負担に変わり、私立と市立の保育料の差が大幅に縮小されたことが最大の要因であり、預かり保育、給食などの影響もあると考えている。

質問 来年度休園の方針が示された原井幼稚園の園児数の推移及び今後の閉園について問う。

教育部長 園児数は15年度23、16年度14、17年度13、18年度2で、18年度の入園者0、19年度申込0となり休園とした。閉園については別途検討する。

質問 原井幼稚園の園児数が激減する16年頃市教委は、このまま推移すれ

ば原井幼稚園休園の可能性は高いと判断していたとの推論を私は持った。それほどこの間、幼稚園教育に対する市教委の方向性が見えない。

2月の原井幼稚園休園報告の際に示された、今後の公立幼稚園の在り方についての方針の真意について問う。

教育部長 園児減少の中で、園の適正配置や預かり保育、給食等の幼児教育の充実についても検討するということである。



4月からの休園が始まった原井幼稚園

中山間地域を元気にする施策は



上野の茂



質問 中心部と山間地域がそれぞれの特質を尊重し、お互いに住民の負担を正當に評価した「連帯と共生」への「仕掛けづくり」に市は積極的に取り組むべきではないか。

地域政策部長 中山間地域では担い手不足の中、農地維持保全、自治会輸送などに尽力されている。中心部と住環境が大きく異なるが、お互いの環境を理解・尊重し浜田市が一体となり暮らしやすい地域社会の実現に努める。

質問 中山間地域における高齢者の見守りや介護予防について、今後の拡充への取組を問う。

健康福祉部長 日常生活圏域ごとに設置している「ささえあい協議体」で見守り方法を模索している。高齢者が安心して在宅生活できるよう地域内



清流での川遊び

産業経済部長 民泊実践者への支援や、受入れ組織の体制強化が整えば、教育学習ツーリズムの受け入れに向け取組む。

貴重な観光資源の

維持と活用方法は



永見利久



質問 「お宝観光資源」を活用した観光商品化と石見神楽振興の取組状況は。

産業経済部長 観光資源を生かした観光ツアーの商品造成に取組み、石見神楽の振興は、日本遺産認定申請を行い、認知度向上を図る取組を行う。

質問 観光客の受入体制の整備と滞在型観光の取組を問う。

産業経済部長 「ようこそ浜田事業」により、観光関係者研修、観光コース策定では、宿泊客数の増加に各種施策で取組む。

質問 浜田市観光振興計画の策定について問う。

産業経済部長 観光振興は、浜田市総合振興計画に基づき実施する。

質問 避難行動要支援者の個別計画の作成状況は。

健康福祉部長 災害時に、避難行動要支援者の

支援を行うためには、行政でなく地域で計画策定をお願いしている。



鉄道遺産(幻の広浜鉄道今福線)で行われたウォーキング

質問 弥栄町で農地管理指針の「農業最適化計画」の策定に着手されたが、同じ課題は全市共通している。全市一体となる計画について問う。

産業経済部長 地域の現状や課題を把握し、全市的な取組を検討する。

その他の質問 ○防災・減災 ○遊休農地の利用促進

自治区を廃止するとは、

どういうことか？



澁谷幹雄



質問 合併前の旧浜田市は、全国3200の自治体で、国からその費用を交付税としてもらっておきながら、公共下水道の普及率はゼロ%、児童の安全が確保されていない「危険校舎」が5校も放置された最悪の自治体だった。誰でもが部長以上の給与がもらえるよう給与表を改ざんし、人件費を垂れ流していたからだ。その上職員は、法律に違反してストライキを実施、自分たちは法律違反をしておきながら、市民からは法律に基づいて税金を徴収していたのだ。それが、学校改築、念願の図書館建設、医療センターの移転新築、財政状況が改善したのは、宇津徹男前市長の優れた政治力もさることながら、4町村に合併してもらったから

だ。その恩を忘れて、自治区を廃止するとはどういうことか。最低でも住民自治の仕組みを構築してから、言うべきでは？

地域政策部長 住民自治を推進するためには、職員体制の充実が必要だ。制度設計を検討する。

質問 「石見神楽の里—浜田」にふさわしい、防音設備完備の常設演舞場を建設すべきでは？

市長 用地の確保、建設費用、維持費など課題はあるが、検討したい。

石見神楽の里—浜田



石見神楽の里—浜田

前市長をぜひ、 名誉市民に推薦してはどうか



牛尾 昭

あきら



質問 2月2日の市葬には、大変多くの方がお見えになり、改めてご功績と人望のなせる業を感じた。宇津徹男さんをぜひ、名誉市民として顕彰してはどうか問う。

市長 生前「公選で出た者はなすべきではない」とのご本人の意志を尊重したい。

質問 そうではあるがご功績を考えると歴史に刻まれるべきと思う。

質問 原井幼稚園の休園は、存続活動をされた9千名を裏切る行為ではないか問う。

教育長 署名活動の皆さん方に申し訳なく思っており、統合新園の可能性については努力する。

質問 開府400年にあたり、永年交流をされた先輩議員や初雁恩知会の皆さん、併せて歴史家の



2月2日に執り行われた市葬

漁業法改正のメリット、 デメリットは？



笹田 卓

たく



質問 「70年ぶりの抜本改革」とされる漁業法改正のメリット、デメリットは？

産業経済部長 現段階で与える影響については不確定だが、メリットは、新規参入や沿岸漁場の保全管理がしやすくなること。デメリットは、漁獲可能量制度の対象魚種のどぐろやカレイなど主要魚種が選定され、漁獲量割当方式によって漁獲量が少なく設定されることだと認識している。



漁業法改正のデメリットは最小限に



陸上養殖に興味がある企業が瀬戸ヶ島に参入か？

質問 瀬戸ヶ島埋立地について、施政方針で「陸上養殖についてご興味をお持ちの企業がありました」とあるが内容は？

地域政策部長 企業からは、陸上養殖の適地かどうか判断するため、地下水の環境についての情報を求められている。

質問 地下海水事業の予算が計上されてないが？

財務部長 当初予算には計上されていないが、必要になれば、何らかの処置をする。

急激に変化する社会に 対応できる浜田市へ



村武 まゆみ



質問 人口減少に伴い、行財政改革において市職員の削減を進める中、市民活動を推進し、市民との協働の推進が必要だと考えるが、市の考えは？

地域政策部長 (仮称)浜田市まちづくり推進条例の制定を目指す。また、市民と行政双方の意識を変えていく取組が大切であり、今後推進していく。

質問 社会の急激な変化により、子どもの自尊心が低下していると感じるが、現状把握は？

教育部長 全国学力調査の意識調査から把握している。全国と比較しても低いとは思わない。

質問 しかし学校現場を見ると子どもの将来への希望、学力や授業中の態度などに影響が出ていると感じている。教職員を対象に京都大学教授が

WYSH教育の段階的指導

- 第一段階 信頼関係づくり
【安心できる人間関係・居場所作り】教職員と生徒、生徒と生徒
- 第二段階 長所探し
【自尊心・役割意識】各子どもが自分を好きになる
- 第三段階 各種教育
【情報を伝える】必要な情報を提供する
- 第四段階 自立準備
【気づきの教育：どう生きるか？】自分で考え、みんなと話し、発表する

WYSH教育について

研究しているWYSH(ウィッシュ)教育の研修を実施してはどうか？

教育部長 検討する。

質問 自尊心と性に対する感情は大きく影響する。性教育の重要性についての考えは？

教育部長 児童生徒が正しい知識を持つことは大切であり、指導の充実が図られるよう取組む。

その他の質問 ○観光情報発信について

港町「漁民団地」の通称名の

変更は可能か？



岡 おか
本 もと
正 まさ
友 とも



質問 健康福祉部に子育て支援係が設置される。窓口を一本化する背景は。

健康福祉部長 「子ども・子育て関連3法」の成立から幼児期の学校教育と保育を総合的に進めることになる。県内の多くの自治体ではすでに幼稚園と保育園など未就学児の業務が一本化されている。



窓口業務が一本化

質問 業務の一本化には多くの課題があるのでは。

健康福祉部長 窓口が一本化することの弊害はない。各種手続きなどの利便性が向上するものと考えてる。

質問 港町5町内を漁民



港町にある漁民団地

都市建設部長 市は呼び方を指定するものではない。移転後、地域住民の判断での変更は可能である。

質問 「県営漁民団地」の移転解体も決まり漁業従事者の減少から通称名を変更すべきと考えるが。

市議会チームマリレーマラソンに参加！
3月2日に開催された「第4回山陰浜田港マリリン大橋リレーマラソン」に、浜田市議会チームで参加しました。この大会は、浜田港エリアの活性化と市民の健康増進、交流人口の拡大を目的として開催されており、今回は市内外から千人以上が参加。市議会チームは、議員5人と事務局職員2人の7人で、しまねお魚センター前をスタートし、マリリン大橋を往復する3



みんな笑顔でゴールイン！



選手と応援団で記念撮影

順位は…ともかく、市民のみなさんと楽しく過ごすことができた、素敵な春の一日でした。

声援を送り、浜田市議会の一体感がさらに増した気がします。

地域井戸端会での質問への対応

地域井戸端会での代表的な意見は議会だよりで紹介しています。議員間討議で共有化と課題の明確化を図り、来年度開催予定の「政策討論会」のテーマの参考にもするという意味から質問への回答はしておりません。しかし、議会の質疑等で市の見解が示されているものや既に計画が明らかになっているものについてはできる限りお答えします。

問 君市踏切の現在の状況を知りたい。

答 踏切を浜田駅側に40メートル移設、拡張する。平成31年度に踏切北側の道路工事に着手し、平成33年度中の供用開始を目指す。

問 敬老入浴券をもっとも利用できない。他のメニューも必要ではないか。

答 1月末までのべ8千人以上の利用があり喜ばれている。地域資源の活用で、社会参加、健康増進の効果も大きい。交通手段等、事業所とも相談し利用しやすい事業となるよう工夫していきたい。3年間は継続したい。他のものについては慎重な検討が必要。

表紙について

ブータン王国から小学校の先生が浜田を訪れ、世界こども美術館で美術教育の指導を受けたり、市内小中学校の授業風景を視察されています。
浜田で学ばれたことが、帰国後にいかされるわけですが、その成果の一つがこれ。
ブータンの小学生たちが作った、張り子の動物たち。なんとも愉快で、制作にむかう子どもたちの健やかな風景が目に浮かびます。
三隅の和紙から生まれたご縁が、こうして別の形でつながっています。
素晴らしい交流のかたちではないでしょうか。



議会報告会を開催します

日 時	開催会場	議 員
5月13日(月) 19:00~20:30	浜 田 公 民 館 みどりかいかん	西川真午、飛野弘二、岡本正友、西田清久、澁谷幹雄 沖田真治、柳楽真智子、串崎利行、芦谷英夫、道下文男、牛尾 昭
5月14日(火) 19:00~20:30	周 布 公 民 館 三 隅 公 民 館	村武まゆみ、野藤 薫、笹田 卓、永見利久、西村 健 三浦大紀、川上幾雄、小川稔宏、上野 茂、布施賢司、佐々木豊治
5月15日(水) 19:00~20:30	美 川 公 民 館 弥 栄 会 館	沖田真治、柳楽真智子、串崎利行、芦谷英夫、道下文男、牛尾 昭 西川真午、飛野弘二、岡本正友、西田清久、澁谷幹雄
5月16日(木) 19:00~20:30	国 府 公 民 館 今 市 公 民 館	三浦大紀、川上幾雄、小川稔宏、上野 茂、布施賢司、佐々木豊治 村武まゆみ、野藤 薫、笹田 卓、永見利久、西村 健

6月定例会議開催予定

日	月	火	水	木	金	土
6/16	17	18	19 開会 議案の提案説明	20 個人一般質問	21 個人一般質問	22
23	24 個人一般質問	25 個人一般質問	26 議案質疑	27 総務文教委員会	28 福祉環境委員会	29
30	7/1 産業建設委員会	2 予算決算委員会 (6月補正)	3 休会	4 表決 閉会	5	6

あとがき

穏やかに白い冬も去り、桜から芽吹き緑へと移行行く季節の中で、日本は新天皇が即位され、元号も「平成」から「令和」へと変わりました。

知事・議会議員が決まり、新体制で県政がスタートしたように、浜田市議会も通年会期制に変わり、より一層活動の幅を広げることができるようになりました。議会広報広聴委員会も、皆さんの暮らしとつながっている「はまだ議会だより」をお送りできるよう、内容・表記や構成に工夫を凝らすなど、新鮮さを忘れないよう努力していきます。

(記 川上 幾雄)

【編集委員】

委員長 小川 稔宏
副委員長 川上 幾雄
委員 三浦 大紀
委員 沖田 真治
委員 西川 真午
委員 村武 まゆみ
委員 笹田 卓
委員 芦谷 英夫
委員 田畑 敬二
委員 澁谷 幹雄

〔議長なんでもメール〕

議長や市議会に関するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会ホームページ→議長なんでもメール

議長なんでもメールページ



★この議会だよりは1部あたり44円でできています。